

みんなで地域づくり事業企画書

<p>団体名</p>	<p>蔵の図書館</p>
<p>事業名</p>	<p>本が繋げる地域とひと事業～蔵の図書館で育む地域コミュニティ～</p>
<p>目的・必要性</p>	<p>（課題、必要性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉岡・鷹の台地区は市の中心地区から離れており、地域住民が集えるコミュニティ施設が少ない。また吉岡・鷹の台地区は、千葉市と隣接しており生活圏が交わる地域でもあり、千葉市と協力して活動を行える地域である。 ・吉岡地区は、古くからの歴史があり、また里山や谷津田の千葉の原風景の魅力にも溢れている地域でもあり、多くの人にその魅力に触れるきっかけづくりを行いたい。 ・吉岡地区にある「蔵」や「休耕地（畑）」を活用することで、地域資源の有効活用を図る。 <p>（課題解決へのアプローチ）</p> <p>(1)誰もが親しみのある「本」を通して「民間図書館」を設置して、多世代交流を図るとともに、行政の垣根を越えた交流のきっかけになる居場所づくりを行う。図書館の設置にあたっては、築130年の蔵を整備し「蔵の図書館」として新たな活用を図る。</p> <p>(2)地域の身近な里山の存在に気づき、体感・経験していくことで、自然を大切に暮らしを知り、楽しみ、次の世代（こども）へつなげていく。そのために「蔵の図書館」敷地内にある休耕地を活用し、「蔵の畑」をつくり、里山を知ってもらうきっかけとする。</p> <p>(3)すでにあるコミュニティ Y・Y・NOWSON と連携することで、多世代が交流を図れる場づくり、古き良き里山や自然を守っていく地域を目指す。</p>
<p>内容</p>	<p><蔵の図書館></p> <p><u>1.蔵の図書館の定期開館</u> 開館：年12回程度（10時～14時）及び臨時開館、清掃作業等 対象：地域の人、子育て中の親子</p> <p><u>2.イベントの企画・開催</u> 開催：年6回程度（週末に開催） 対象：地域の小中学生、地域住民（他市含む）</p> <p><u>3.広報、情報発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebookによる情報発信 ・チラシ配布による広報（年2回）※旭中学校地区、千城台、御成台地区の小学校に配布 ・パンフレット配布による広報 <p>（仕組み）</p> <p>図書館の「本」は、来館者にお気に入りの1冊を寄贈してもらう。→寄贈した人が「本」に対する思いや感想を書いたカードを書いて本に貼り、それを蔵書とする→本には読んだ人が感想を書けるカードを用意する。</p>

	<p>ゆったりとくつろげる空間を創り、様々な人が集える場づくりをし、本をきっかけに、本と人、人と人をつなげていく。 また定期的にイベントを開催することで場所や活動の周知を図る。</p> <p><蔵の畑></p> <p><u>1.蔵の畑の運営・管理</u> 開催：「蔵の図書館」開館日及び定期的な作業 内容：四季折々の野菜を植え、育て、収穫し、イベント時参加者と共に里山の暮らしに触れながら楽しむ。</p> <p><u>2.イベントの企画・開催</u> 蔵の図書館イベントと連動した企画</p> <p>「本」を楽しむだけでなく、本でつながった人たちと共に季節の野菜や草花を植え、土に触れ、育てる楽しみ、収穫・食べる喜びを知ることができる野菜づくりを行う。また、地域住民の散歩コースにもなっている「蔵の畑」の周知をすることで「蔵の図書館」へのスムーズな案内を図っていく。 (別紙参照)</p>	
スケジュール	時期	具体的な取組
	12～3月	[蔵の図書館] 準備期間（図書カードづくり、畑づくり） プレ開催（本寄贈の周知、協力者募集等）
	2月	[蔵の畑] 畑づくり（耕運機）
	4月	[蔵の図書館] 「蔵の図書館」本オープン 小学校、地域へのチラシ配布等
	4月～3月	[蔵の図書館、蔵の畑] 定期開館（12回程度／年） イベント開催（6回程度／年）本棚づくりなど ※主に土日開催とし、小学生や父親の参加もしやすいイベントとする
	4～5月 7～8月	[蔵の畑] 夏野菜等植え付け、収穫
	8～9月 10～12月	[蔵の畑] 秋冬野菜植え付け、収穫
	役割分担の想定	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蔵の図書館」「蔵の畑」の企画及び運営 ・他団体との連携、調整
<p>(市の役割)</p> <p>図書館（書籍の貸し出し、開催サポート）</p>		
他団体との連携	<p>(1)Y・Y・NOWSON（場の提供、事業連携・サポート） (2)おうちプラス+（広報、案内、イベント協力） (3)おやかフェ（広報、案内、イベント協力）</p>	

	<p>(4)四街道プレーパークどんぐりの森（広報、案内、イベント協力） (5)プレーパークわくわくの森おなりだい（広報、案内、イベント協力） (6)にこにこ文庫さとの子会（選書・本の読み聞かせ協力） (7)旭中学校地区小学校、千城台・御成台地区小学校（チラシ等配布）</p>
<p>期待される成果</p>	<p>・誰にとっても身近にある「本」をキーワードにし、本を介したつながりをつくることで、本と人、人と人との出会いの場が生まれる。そのことで多世代、他地域の人たちが集える交流の拠点となる。</p> <p>・敷地内にある畑を活用していくことで「図書館に興味がある人」「畑に興味がある人」に対象が広がり、また、興味の対象が異なる人同士が交わることで新たなコミュニティの広がりが期待される。</p> <p>・自然や里山に興味がなく、今まで吉岡地区を訪れるきっかけがなかった人や地域住民が、「本」や「蔵」という新しい出会いを通じて、身近にある谷津田や里山の豊かさ、そこでの人々の暮らしの価値に気付くことで、地域資源（蔵や畑）を活用するモデルケースとなる。これを進めることで里山保全の意識を高めたり、近隣地域への波及効果が期待される。</p> <p>・年間本の寄贈数目標 150冊</p> <p>・年間利用者数目標 定期開館 20人×12回=240人 イベント時 40人×6回=240人 他団体とのコラボイベント時 120人</p> <p>・Facebook ページ 150 いいね！</p>

備考

- 1 「役割分担の想定」のうち（市の役割）は、事業形態がサポート型にあつては、役割がある場合に記載してください。
- 2 「期待される効果」は、数値等を記載してください。